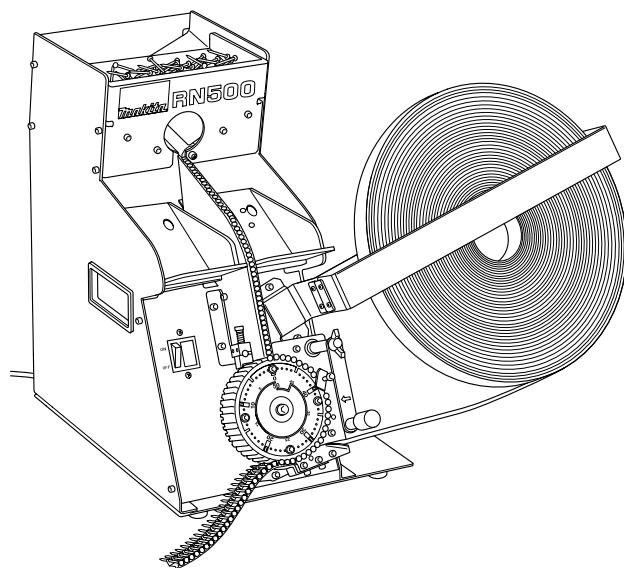
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

makita

取扱説明書

サイディング用
釘連結機

モデル RN500

このたびはmakita製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。本製品をお取り扱う前に、安全に、効率よく、ご使用していただくために、充分に最後まで本製品取扱説明書をお読みいただき、正しい使用方法でお取扱いしていただきますようにお願いいたします。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ： 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ： 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ： 製品および付属品の取扱い等に関する重要なご注意。

安全上のご注意

●火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
●ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
●お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

1. **ご使用前に取扱説明書を必ずよくお読みください。**
2. **作業場は、いつもきれいに保ってください。**
   ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
3. **作業場の周囲状況も考慮してください。**
   ・ 本機を、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
   ・ 作業場は十分に明るくしてください。
   ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
4. **感電に注意してください。**
   ・ 本機を使用中、身体を、アースされているものに接触させないようにしてください。
   (例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
5. **子供を近づけないでください。**
   ・ 作業者以外、本機やコードに触れさせないでください。
   ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。

⚠警告

6. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で､子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

7. きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
- 長い髪は、帽子やヘアーカバー等で覆ってください。

8. 保護めがねを使用してください。
- 作業時は、保護めがねを使用してください。

9. コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。

10. 本機は、注意深く手入れをしてください。
- 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所に修理を依頼してください。
- 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

11. 次の場合は、本機のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
- 使用しない、または、調整、点検、修理をする場合。
- その他危険が予想される場合。

12. 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- プラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。

13. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
- 取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れている場合は、使用しないでください。

14. 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または弊社営業所で修理を行なってください。
- スイッチで始動および停止操作の出来ない場合は、使用しないでください。

15. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- 本取扱説明書および弊社やカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

⚠警告

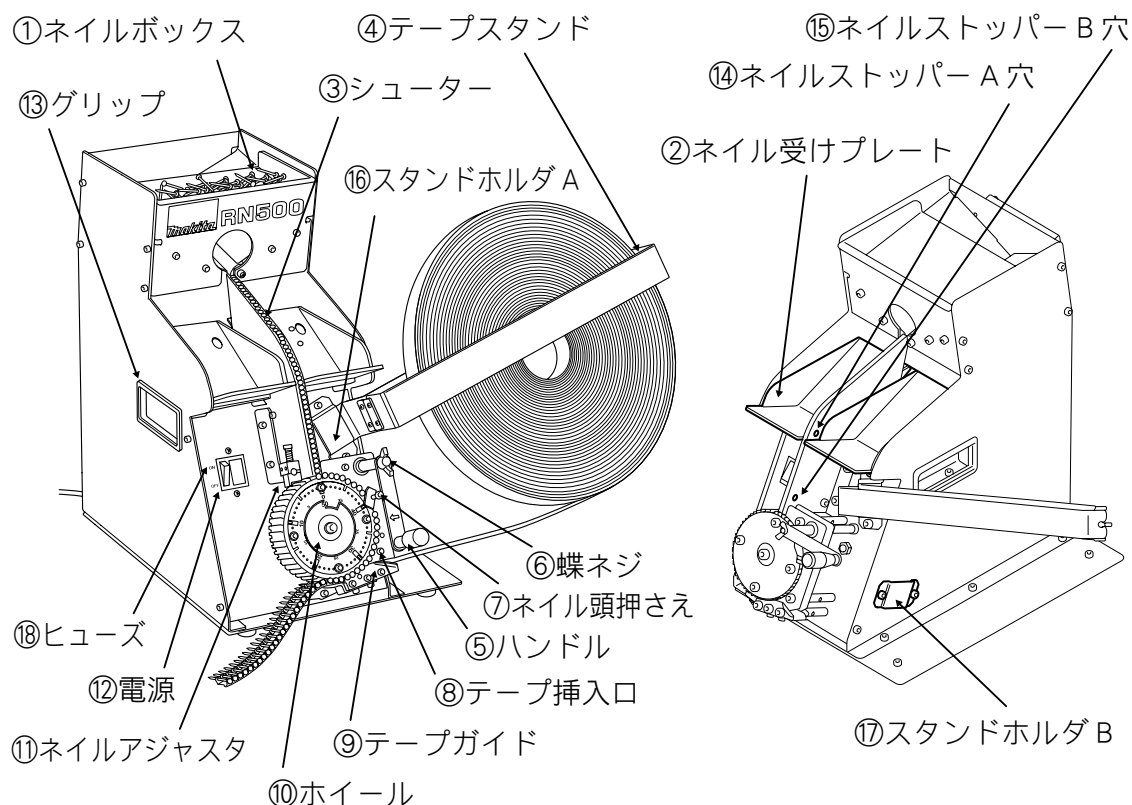
16. 本機の修理は、専門店に依頼してください。
・ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
・ 修理は、必ずお買い求めの販売店または弊社営業所にお申し付けください。
・ 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
17. 炎天下や高温となる場所では使用しない。
18. 元電源には必ず漏電しゃ断器を通して接続する。
19. 異常を感じたら絶対に使用しない。
20. 改造や分解は、絶対にしない。
21. 元電源はAC(単相)100Vであることを確認してください。
22. 必ず、水平な場所に設置してください。転倒や破損の原因となります。
23. 接地線(アース)は、ガス管に絶対に接続しない。
24. 電源プラグの金属部には、絶対に触れない。特に濡れた手で触ると感電する恐れがあり、大変危険です。
25. 使用範囲外の釘は絶対に連結しないでください。
26. PPテープは、必ず純正のPPテープを使用し、再利用は絶対にしないでください。一度使用されたPPテープを再利用されますと、釘の連結が外れることがあり、その状態で釘打ち作業されますと大変危険です。
27. 作業終了後は、釘をすべて取り除き、電源プラグを外し、箱に入れ、涼しい場所に保管してください。
28. ホイール(歯車)、ローラー等の回転部には絶対に触れない。

INDEX

1. 製品仕様

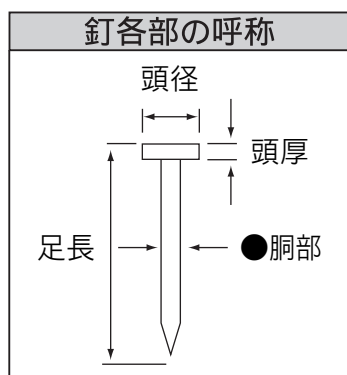
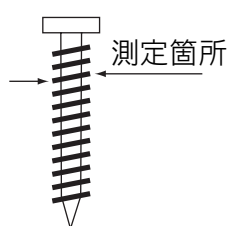
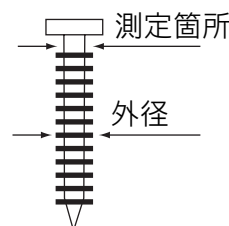
項目	型式 / 単位	RN500
質量	kg	12.0
連結使用可能範囲釘	mm	胴部径 φ2.1 ～ 3.0
	mm	頭径 φ5.0 ～ 6.0
	mm	頭厚　最大 1.5 まで
	mm	足長　38 ～ 50
PPテープ使用可能サイズ	ー mm	＊1 №. 218, 233, 252, 277
寸法（高×奥×幅） テープスタンド装着時	mm	422 × 538 × 535
テープスタンド収納時	mm	422 × 538 × 265
モータ出力	W	2.5
電源	V	単相 100
標準付属品	テープスタンド	

＊1 につきましては、6 ～ 7 頁の PP テープの選定方法を参照ください。

2. 本製品の各部名称

3. 各部の役割

① ネイルボックス …………釘をあらかじめ入れておくボックスです。
② ネイル受けプレート ……シューターからこぼれた釘を受けるプレートです。
③ シューター ………………釘が整列するレールです。
④ テープスタンド …………PPテープを置くスタンド(台)です。
⑤ ハンドル …………………ホイールを回転させます。(右回しです。)
⑥ 蝶ネジ ……………………ハンドルを緩めたり、締め直したりします。
⑦ ネイル頭押さえ …………釘頭を一定の高さに揃えます。
⑧ テープ挿入口 ……………PPテープを挿入する差込口です。
⑨ テープガイド ……………PPテープを「コの字」に案内します。
⑩ ホイール …………………釘が一本ずつ整列する歯車です。
⑪ ネイルアジャスタ ………連結する釘を一本セットすることで簡単に調整が
　　(PAT.P)　終了する便利な釘胴部太さ調整機能です。
⑫ 電源 ………………………ローラーを回転させるスイッチです。
⑬ グリップ …………………取っ手です。
⑭ ネイルストッパーA穴…別途説明をお読みください。(8～9頁参照)
⑮ ネイルストッパーB穴…別途説明をお読みください。(11頁参照)
⑯ スタンドホルダA…………使用時にテープスタンドを取付ける差込口です。
⑰ スタンドホルダB…………収納時にテープスタンドを取付ける差込口です。
⑱ ヒューズ …………………寸法 φ5.2 × 20mm　2A です。

4. PPテープの選定方法

⚠警告
PPテープの選定を間違えますと、連結できないだけでなく、釘外れの原因となり、釘打ち作業中に思いがけない釘飛びが発生し、失明などの恐れがあり、大変危険です。

●胴部の測定箇所は釘の形状により異なりますので下記図をご確認の上、選定ください。

PPテープと釘選定早見表

PPテープ型式	足長 (mm)	頭径 (mm)	頭厚 (mm)	胴部径寸法 (mm)
No.218	38 ～ 50	φ5.0 ～ 6.0	1.5 以下	φ2.1 ～ φ2.3 未満
No.233				φ2.3 ～ φ2.5 未満
No.252				φ2.5 ～ φ2.7 未満
No.277				φ2.7 ～ φ3.0 未満

釘の形状によっては、連結不可能な釘もございます。また、リング外径 φ3.00mm を超える場合は連結できません。

PPテープ別売品

型式	バラ連結機対応機種	1 巻 /m	品番
	RN500		
PPテープ No.218	●	80m	F-90054
PPテープ No.233	●		F-90067
PPテープ No.252	●		F-90070
PPテープ No.277	●		F-90083

5. 使用前の確認

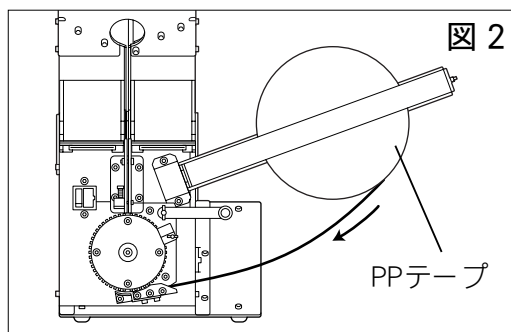
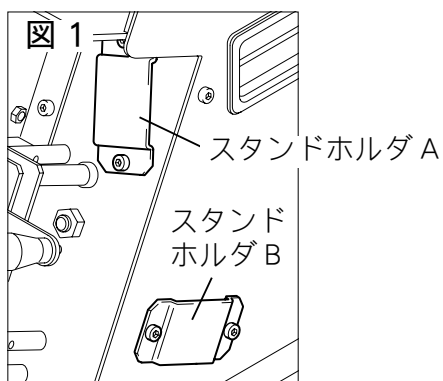
① PPテープサイズと連結する釘が適正な選定がされているかどうかPPテープの選定方法の表を参照の上、ご確認ください。
② バラ釘に変形釘がないことを確認する。

6. 使用手順

⚠警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となりけがの原因になります。
2. 運転中は常に保護めがねを使用してください。
・ 釘が飛び散った時など、けがの原因になります。
3. 回転中のギヤには手を触れないでください。
・ けがの原因になります。
4. 釘がローラー部に詰まって回転が止まった時は、直ちにスイッチを切りプラグを電源から抜いてから、詰まった釘を取り除いてください。
・ モータが発熱し、けがや破損の原因になります。

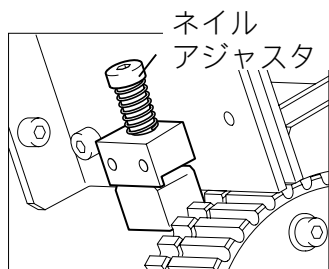
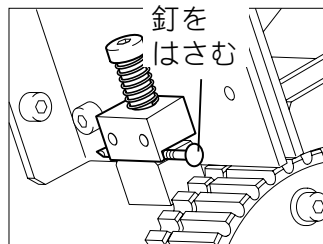
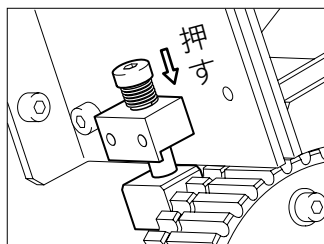
① ハンドルが裏向きに梱包されていますので、蝶ネジ（5頁⑥参照）を緩めてハンドルを正規の方向に取り付けてください。また、ネイルボックス等を止めているテープを剥してください。

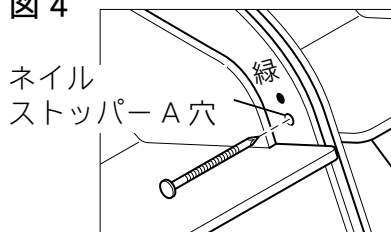
② 付属のテープスタンドをスタンドホルダ A に差込み、PP テープをセット致します。(図 1、図 2)

PPテープは必ず巻径がこの向きに正面になるように
セットしてください。

＊裏向きにセットされますと連結することができませんのでご注意ください。

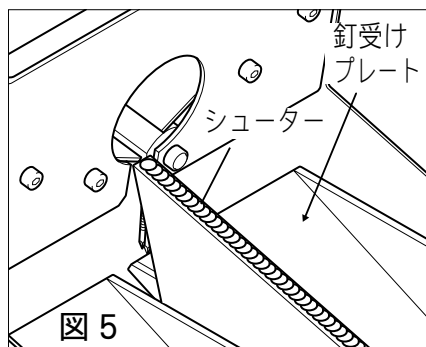
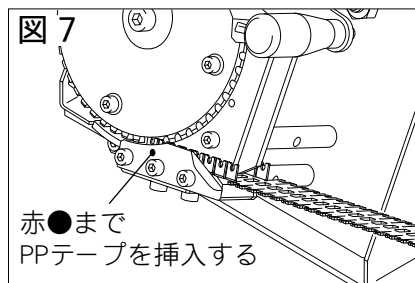
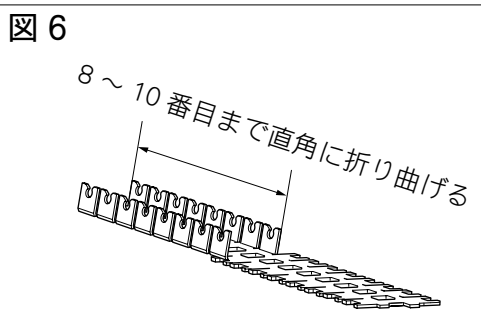
③ 電源プラグを AC(単相)100V に差込みます。
④ ネイルアジャスタに連結する釘を 1 本差込みます。これで釘胴部径 φ2.1 ～ 3.0mm まで調整が自動的に完了します。(図 3)

ネイルアジャスタの使用方法図　図 3

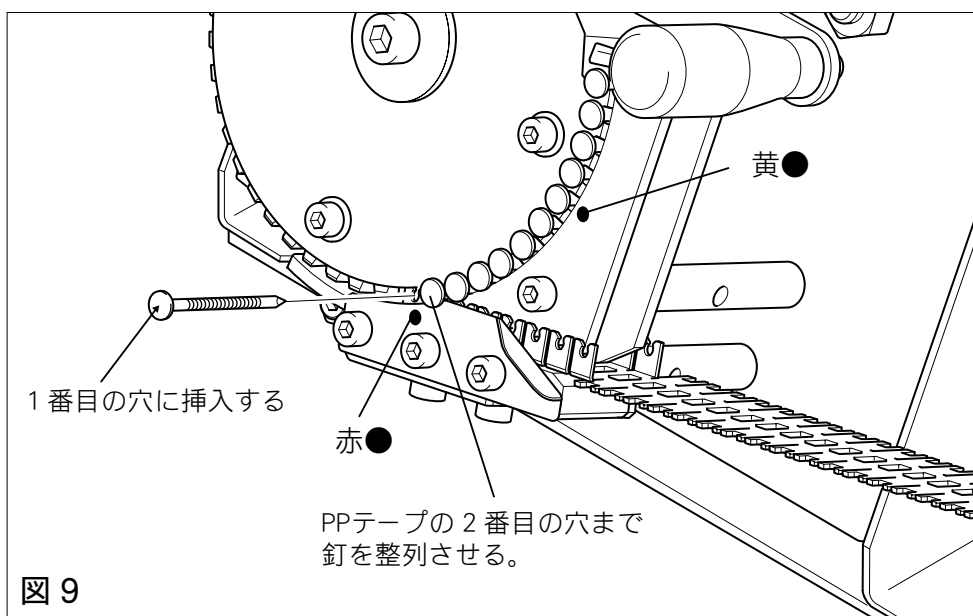
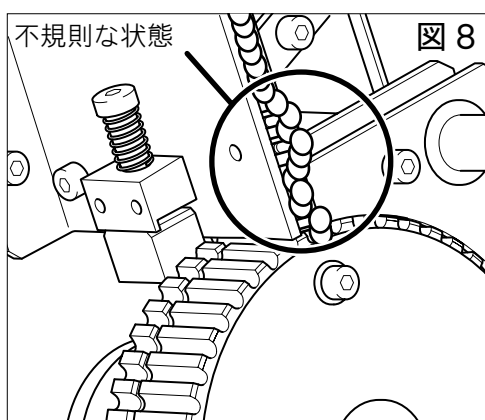
釘を
はさむ

①ネイルアジャスタを押します。

②使用釘をセットすれば、完了。

⑤ ネイルボックスに釘を適量 (こぼれない程度) 入れます。
⑥ ネイルストッパーA 穴 (緑●) に釘を 1 本差込みます。(図 4)
⑦ 電源を入れます。(スイッチが緑色に光ります。)
⑧ 少しずつネイルボックスに入っている釘をシューターに落とし、30 本程整列しましたら、ネイルストッパー穴の釘をゆっくりと外します。外すと釘がホイール (歯車) の位置まで落下致します。

＊ 注意 : 落下時に釘がシューターから飛び出てくる場合がありますが、故障ではありません。

⑨ 再度、ネイルボックスの釘をシューターに落とし、シューター上部まで、釘を整列させます。(図 5)
⑩ PPテープの差込み口を (図 6) の様に直角に折り曲げてテープ挿入口から、テープガイドの赤●の箇所まで差込みます。(図 7)

図 4

重要！！

⑪ ハンドルを右に回します。
重要！！　初めの 5 ～ 10 本は、ゆっくりハンドルを回すこと。

⚠注意
ネイルストッパー A 穴 (緑●) の釘を外した時、ホイール (歯車) に釘が落下した瞬間は、釘頭が不規則に (図 8) 重なり合っていることがありますので、初めの 5 ～ 10 本は、1 本ずつホイール (歯車) に入ることを確認しながら、ゆっくりとハンドルを回してください。無理にハンドルを回すと釘が噛み込み、周辺部品が早期に破損する恐れがあります。

⑫ ハンドルを右に回し、釘をホイール (歯車) に整列させ、挿入した PPテープの 2 番目のタブの位置まで釘を整列させます。
赤●の位置に PP テープの先端穴とインサートホイール穴が一致していることを確認し､釘を正面から 1 本差込みます。(図 9)

⑬ 差込み完了しましたら、ハンドルを右に微回転させ、２本目の釘がPPテープの穴に、確実に連結できていることを確認してください。
⑭ 以上で準備完了です。
ハンドルをゆっくりと右に回しながら、ネイルボックスの釘をシューターＡ部 (図 10) に釘がなくならない様に落としながら、釘を連結してください。

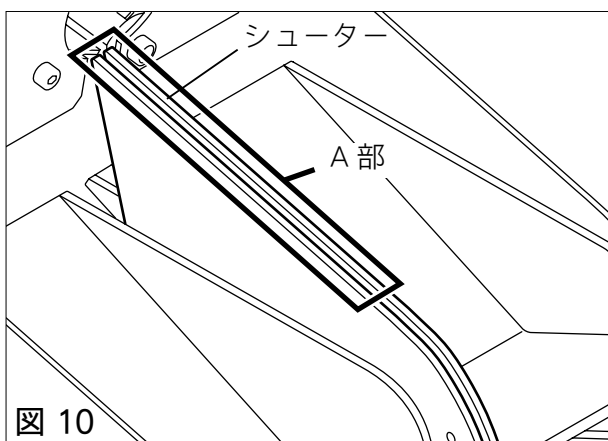



図 10

7. 連結した釘をロール状にします。

200本程度を限度としてロール状にしてご使用ください。
弊社純正品の連結釘は、300本ですが、コーティング材により連結がバラけない様に製造されております。ご家庭で連結される場合、コーティング材が使用できませんので、200本程度を目安として連結することをお勧め致します。

ロール状の大きさは、下記図を参照に巻いてください。(図 11)

⚠警告
・ 内径40mm以下のロール状に巻き取らない。 ・ 200本以下で連結する。

外径…133mmまで
133mm以上になりますと、釘打機のマガジン (釘ケース) に入りません。
内径…40mm以上
40mm以下になりますと、PPテープから連結が外れ、事故の原因となりますので、絶対に40mm以下に巻き取らないでください。

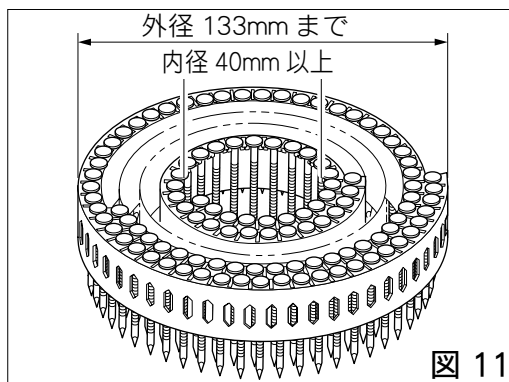



図 11

8. 連結作業を終了する場合。

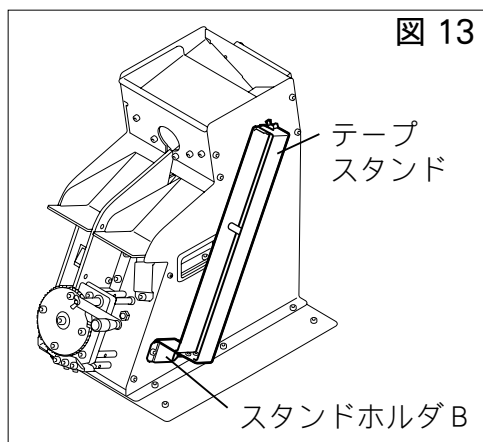
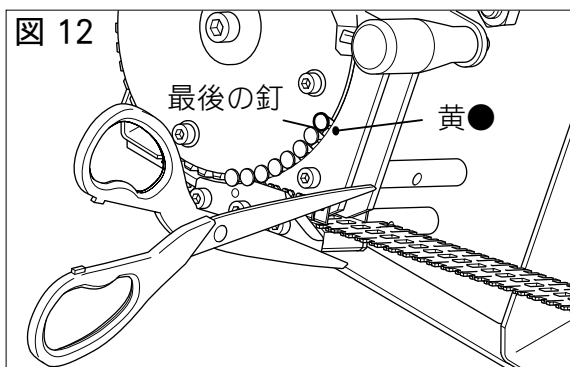
① 連結する最後の釘が、黄●の位置に来た時に、PPテープをカットしてください。
② カットが終わりましたら、最後まで連結してください。(図 12)

注

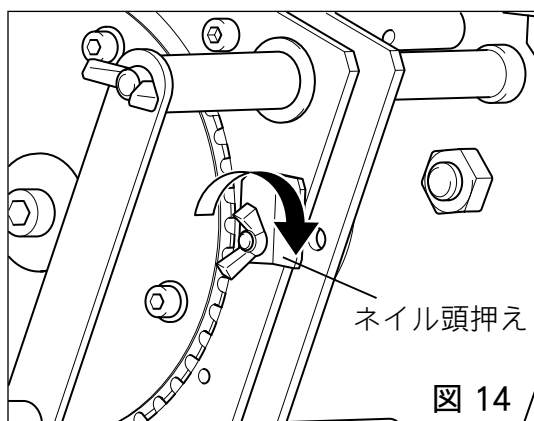
空 (から) の状態で送られたPPテープを逆に引き抜こうとしますと、ホイールに引っ掛かり、故障の原因となりますので絶対にしないでください。

③ 電源 (スイッチ) を切ります。
④ 残りのPP テープは、テープスタンドから外し、箱に収納するか、巻がバラけない様にテープで止めて保管してください。
⑤ テープスタンドは、サイドのスタンドホルダ B に収納するとコンパクトに収納できます。(図 13)
⑥ コンセントから電源プラグを外します。

図 12

図 13

9. 巻き始めに失敗した場合

① ネイルストッパーB 穴 (青●) に釘を挿入します。
② ネイル頭押さえのネジを緩め、図の位置までずらし、ネジを締め固定します。(図 14)
③ 不要な釘(シューター部やホイール部に残っている釘) を 1 本、1 本、丁寧に取り除いてください。
④ ネイルストッパーB 穴 (青●) に挿入した釘を取り除きます。
⑤ 再度、使用手順に従って連結を行ってください。

図 14

＊ 万一、連結がうまくできない場合は、お買い求めの販売店、もしくは、最寄りの営業所までお尋ねください。(取扱説明書　最終ページ参照)

10. 運搬上の注意

① 運搬は、丁寧に扱ってください。
② 車での運搬は、本機に衝撃が加わることがないように箱に入れ、安定した位置でロープ等で固定してください。

全国に拡がるアフターサービス網

お買い上げ商品のご相談は、最寄りのマキタ登録販売店もしくは、下記の当社営業所へお気軽にお尋ねください。

事業所名	電話番号
札幌支店	〈011〉(783) 8141
札幌営業所	〈011〉(783) 8141
旭川営業所	〈0166〉(29) 0960
釧路営業所	〈0154〉(37) 4849
函館営業所	〈0138〉(49) 9273
苫小牧営業所	〈0144〉(68) 2100
帯広営業所	〈0155〉(36) 3833
北見営業所	〈0157〉(26) 9011
仙台支店	〈022〉(284) 3201
仙台営業所	〈022〉(284) 3201
古川営業所	〈0229〉(24) 0698
青森営業所	〈017〉(764) 4466
八戸営業所	〈0178〉(43) 3321
盛岡営業所	〈019〉(635) 6221
水沢営業所	〈0197〉(22) 5101
郡山営業所	〈024〉(932) 0218
いわき営業所	〈0246〉(23) 6061
福島営業所	〈0243〉(22) 1204
新潟支店	〈025〉(247) 5356
新潟営業所	〈025〉(247) 5356
長岡営業所	〈0258〉(30) 5530
山形営業所	〈023〉(643) 5225
酒田営業所	〈0234〉(26) 3551
秋田営業所	〈018〉(863) 5205
宇都宮支店	〈028〉(634) 5295
宇都宮営業所	〈028〉(634) 5295
小山営業所	〈0285〉(25) 5559
水戸営業所	〈029〉(248) 2033
土浦営業所	〈029〉(821) 6086
埼玉支店	〈048〉(777) 4801
さいたま営業所	〈048〉(777) 4801
川越営業所	〈049〉(222) 2512
熊谷営業所	〈048〉(521) 4647
越谷営業所	〈048〉(976) 6155
前橋営業所	〈027〉(232) 5575
高崎営業所	〈027〉(365) 3688
両毛営業所	〈0276〉(46) 7661
千葉支店	〈043〉(231) 5521
千葉営業所	〈043〉(231) 5521
市川営業所	〈047〉(328) 1554
成田営業所	〈0476〉(73) 8101
木更津営業所	〈0438〉(23) 2908
柏営業所	〈04〉(7175) 0411
東京支店	〈03〉(3816) 1141
東京営業所	〈03〉(3816) 1141
中野営業所	〈03〉(3337) 8431
足立営業所	〈03〉(3899) 5855
大田営業所	〈03〉(3763) 7553
江戸川営業所	〈03〉(3653) 5171
多摩営業所	〈042〉(384) 8411
立川営業所	〈042〉(542) 1201
横浜支店	〈045〉(472) 4711
横浜営業所	〈045〉(472) 4711
川崎営業所	〈044〉(811) 6167
平塚営業所	〈0463〉(54) 3914
相模原営業所	〈042〉(757) 2501
湘南営業所	〈0466〉(87) 4001
静岡支店	〈054〉(281) 1555
静岡営業所	〈054〉(281) 1555
沼津営業所	〈055〉(923) 7811
浜松営業所	〈053〉(464) 3016
甲府営業所	〈055〉(276) 7212
金沢支店	〈076〉(249) 5701
金沢営業所	〈076〉(249) 5701
七尾営業所	〈0767〉(52) 3533
富山営業所	〈076〉(451) 6260
高岡営業所	〈0766〉(21) 3177
福井営業所	〈0776〉(35) 1911
岐阜支店	〈058〉(274) 1315
岐阜営業所	〈058〉(274) 1315
多治見営業所	〈0572〉(22) 4921
松本営業所	〈0263〉(85) 4751
長野営業所	〈026〉(225) 1022
上田営業所	〈0268〉(22) 6362
飯田営業所	〈0265〉(24) 1636
名古屋支店	〈052〉(419) 0561
名古屋営業所	〈052〉(419) 0561
豊橋営業所	〈0532〉(46) 9117
岡崎営業所	〈0564〉(22) 2443
知多営業所	〈0569〉(48) 8470
一宮営業所	〈0586〉(75) 5382
東名古屋営業所	〈0561〉(73) 0072
津営業所	〈059〉(232) 2446
四日市営業所	〈059〉(351) 0727
伊勢営業所	〈0596〉(36) 3210
京都支店	〈075〉(621) 1135
京都営業所	〈075〉(621) 1135
福知山営業所	〈0773〉(23) 7733
大津営業所	〈077〉(545) 5594
彦根営業所	〈0749〉(22) 6184
大阪支店	〈06〉(6746) 7220
大阪営業所	〈06〉(6746) 7220
東大阪営業所	〈06〉(6746) 7531
南大阪営業所	〈0725〉(46) 6611
奈良営業所	〈0742〉(61) 6484
橿原営業所	〈0744〉(22) 2061
和歌山営業所	〈073〉(471) 4585
田辺営業所	〈0739〉(25) 1027
沖縄営業所	〈098〉(874) 1222
兵庫支店	〈0794〉(82) 7411
三木営業所	〈0794〉(82) 7411
尼崎営業所	〈06〉(6437) 3660
神戸営業所	〈078〉(672) 6121
姫路営業所	〈079〉(281) 0204
広島支店	〈082〉(293) 2231
広島営業所	〈082〉(293) 2231
福山営業所	〈084〉(923) 0960
三原営業所	〈0848〉(64) 4850
岡山営業所	〈086〉(243) 4723
宇部営業所	〈0836〉(31) 4345
徳山営業所	〈0834〉(21) 5583
鳥取営業所	〈0857〉(28) 5761
松江営業所	〈0852〉(21) 0538
高松支店	〈087〉(867) 6411
高松営業所	〈087〉(867) 6411
徳島営業所	〈088〉(626) 0555
松山営業所	〈089〉(951) 7666
宇和島営業所	〈0895〉(22) 3785
高知営業所	〈088〉(884) 7811
福岡支店	〈092〉(411) 9201
福岡営業所	〈092〉(411) 9201
北九州営業所	〈093〉(551) 3481
飯塚営業所	〈0948〉(26) 3361
久留米営業所	〈0942〉(43) 2441
佐賀営業所	〈0952〉(30) 6603
長崎営業所	〈095〉(882) 6112
佐世保営業所	〈0956〉(33) 4991
熊本支店	〈096〉(389) 4300
熊本営業所	〈096〉(389) 4300
八代営業所	〈0965〉(43) 1000
大分営業所	〈097〉(567) 3320
宮崎営業所	〈0985〉(26) 1236
鹿児島営業所	〈099〉(267) 5234
沖縄営業所	大阪支店の欄をご覧ください。
関東物流センター	〈048〉(771) 3451
関西物流センター	〈0725〉(46) 6715

882438A9

株式会社 マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)